

## 中途求職者の情報収集はどう変化したか？ 「DYM 就職」登録者調査で見た認知経路。 WEB 広告が最多、TikTok も約 3 割に到達 -転職サービス「DYM 就職」登録者 3,938 名へ調査を実施-

人材事業、WEB 事業、海外医療事業などを中心に、M&A 事業やスポーツ事業など多角的に事業を展開する株式会社 DYM（読み：ディーワイエム、本社：東京都品川区、代表取締役社長：水谷佑毅）は、同社が提供する転職支援サービス「DYM 就職」の登録者を対象に、サービス認知経路に関するアンケート調査を実施いたしました。

調査の結果、転職活動における情報収集は、従来の WEB 広告に加え、SNS、とりわけ TikTok を中心とした動画プラットフォームの影響力が拡大していることが明らかになりました。

### ■「DYM 就職」とは

「DYM 就職」は、第二新卒・既卒・フリーターなど若年層を中心に、未経験から正社員就職を支援する転職サービスです。キャリアアドバイザーによる個別サポートを通じて、求職者一人ひとりに適した企業とのマッチングを実現しています。



### ■登録者 3,938 名にアンケートを実施

本調査は、直近 1 年間に「DYM 就職」に登録した求職者 3,938 名を対象に実施しました。サービスを知ったきっかけについて、複数回答形式で回答を得ています。

### ■WEB 広告が最多、TikTok も約 3 割に到達

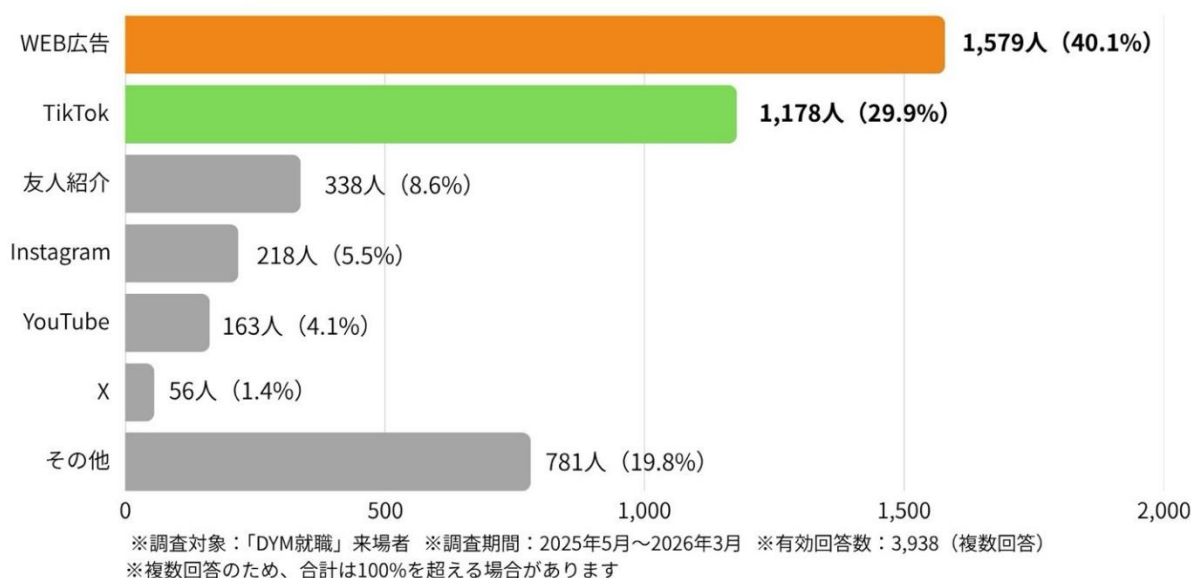
調査の結果、サービスを知ったきっかけとして最も多かったのは「WEB 広告」で 1,579 人（40.1%）となりました。

一方で、「TikTok」をきっかけに認知したと回答した割合も 1,178 人（29.9%）と約 3 割に達し、主要な流入経路として存在感を示す結果となりました。

その他、「友人紹介」338 人（8.6%）、「Instagram」218 人（5.5%）、「YouTube」209 人（5.3%）、「X」56 人（1.4%）と続いています。

# D Y M 就職 認知のきっかけ

## WEB広告が最多、TikTokも約3割に到達



### ■ 求職者から見える、情報収集行動の変化

今回の調査結果から、転職活動における情報収集は、従来のWEB広告に加え、SNS、とりわけTikTokを中心とした動画プラットフォームの影響力が拡大していることが明らかになりました。

実際の登録者データに基づく結果であることから、求職者のリアルな情報接触の実態を示すものと考えられます。

### ■ 今後の展開

DYMでは、今回の調査結果を踏まえ、SNSを活用した情報発信の強化や、求職者の行動変化に対応した採用支援サービスの提供を進めてまいります。今後も、企業と求職者双方にとって価値のあるマッチング機会の創出を目指してまいります。

### ■ 調査概要

調査対象：「DYM就職」登録者

有効回答数：3,938名

調査期間：直近1年間

調査方法：インターネット調査（複数回答可）

### ■ 株式会社 DYM 会社概要

(1)商号：株式会社 DYM

(2)代表取締役社長：水谷 佑毅

(3)設立年月：2003年8月

(4)資本金：5000万円

(5)売上高：258億円（21期）、324.6億円（22期）

(6)本店所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー10階

(7)従業員数：連結 2,744名（2025年4月1日現在）

(8)事業内容：人材事業、WEB事業、海外医療事業、M&A事業、スポーツ事業 等

(9)URL：<https://dym.asia/>

「本件に関する報道関係のお問い合わせ」

株式会社 DYM 広報担当 塩田

TEL: 03-5745-0200 FAX: 03-3779-8720

E-Mail:pr@dym.jp URL: <https://dym.asia/>

